

## 第 20 回公開教育研究会報告

研究部 阿部 真由美

2015 年度の公開教育研究会では、「グローバル化時代に対応した資質と能力の育成」をテーマとして、スーパーグローバルハイスクール（以下 SGH という）として教育課程の中に組み込んで研究開発している科目はもちろんのこと、そのほかの教科・科目においてもグローバル人材育成につながる授業実践の公開を試みた。今年度は、下記のとおり、国語総合、音楽Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅰ、グローバル総合【国際協力とジェンダー】の 4 つの研究授業と、化学の通常授業が行われた。

### [研究授業]

1 年生 国語総合（漢文）「漢詩の入門教材としての『詩経』「桃夭」

今成 智美

2 年生 音楽Ⅱ 「合唱へのアプローチ～『群読』から導かれる音楽的表現～」

原 大介

1 年生 コミュニケーション英語Ⅰ「基礎・基本を重視した授業～グローバル化の中で～」

木村 政子

2 年生 グローバル総合【国際協力とジェンダー】「途上国の人権について考える」

増田かやの 葭内ありさ

### [通常授業]

3 年生 化学

溝口 恵

各研究授業では、基礎・基本を重視した授業のねらいのなかで、生徒が活発に発言したり活動したりする場面が多く見られ、本校ならではの授業の展開をお見せすることができた。また、総合的な学習の時間「グローバル総合」（2 年次選択必修、SGH 課題研究）における講座のひとつである「国際協力とジェンダー」の研究授業では、生徒によるプレゼンテーションや、課題解決を目的としたグループワークなどを取り入れた授業を公開した。参加者からは「生徒と先生との軽やかな言葉のキャッチボールで展開していく授業に感動した。」「授業の内容が興味深かった。」「SGH の取組は、本当に生徒たちの将来に直結し活躍する姿が想像できた。」など多くのご意見を頂くことができた。詳しい研究授業、研究協議の内容等については、担当者より報告する。

講演会では、国際教養大学 キャリア開発センター長 三栗谷 俊明 氏 より「和魂多才 ～グローバル化社会を生き抜く若者づくり～」というテーマでご講演いただいた。SGU にも指定されており、グローバル人材育成に取り組む大学の立場から、日本の

良さや強みをふまえ、大学ではどのような資質・能力の育成に力を入れているのか、また高校段階ではどのような資質・能力の育成を目指す和良好的か、国際教養大の取組や事例をもとに講演していただいた。高大連携や入試改革の流れの中で参加者の関心にあった話題でもあり、講演に対する満足度は高かった。

参加者は保護者等を含め 110 名（本校教員 24 名）であった。今回の研究会の概要を以下に記しておく。

## 第 20 回公開教育研究会

1. 日 時      2015 年 11 月 21 日（土）午前 9 時 30 分～午後 4 時

2. 時 程      受付 午前 9 時～

	1 年蘭組	1 年梅組	2 年選択者	2 年 選択者	3 年 選択者
9:30 ～ 9:50	開会式 および 全体会				
① 10:05 ～ 10:55			グローバル総合 「国際協力とジェンダー」	音楽Ⅱ	化学
② 11:10 ～ 12:00	国語総合 (漢文)	コミュニケーション 英語Ⅰ	グローバル総合 「国際協力とジェンダー」	音楽Ⅱ	化学
12:00 ～ 13:00	昼 休 み				
13:00 ～ 14:15	研 究 協 議 国語 ・ 音楽 ・ 英語 ・ SGH 課題研究				
14:30 ～ 16:00	講 演    国際教養大学 キャリア開発センター長 三栗谷俊明 氏 「和魂多才 ～グローバル化社会を生き抜く若者づくり～」				

\* **ゴシック体** は研究授業、明朝体は通常授業。